



 **アズワン株式会社**

東証プライム（7476）

2022年5月13日

2022年3月期決算補足資料

同時に修正版中期経営計画も開示しております。合わせてご参照ください

1. 22/3期 実績

2. 23/3期 業績予想

中期経営計画PROJECT ONE ver.2.0 (別紙)

22/3期 実績

22/3期 業績概要

実績

■ 売上高 **869.5億円** 前年同期比 **+6.6%**^{計画比} (+17.9億円)
+53.5億円

12年連続増収・11連続過去最高。
メディカル部門の下期反動減を、好調なラボ・インダストリー部門がカバー。

■ 営業利益 **93.4億円** 前年同期比 **▲5.6%**^{計画比} (+7.1億円)
▲5.5億円

2Qを底に収益性低下も、下期回復。通期で過去2番目の利益額を達成。

■ 当期純利益 **72.0億円** 前年同期比 **+20.3%**^{計画比} (+9.6億円)
+12.1億円

遊休資産売却の特別損益+8.8億あり、11期連続増益、10期連続過去最高。

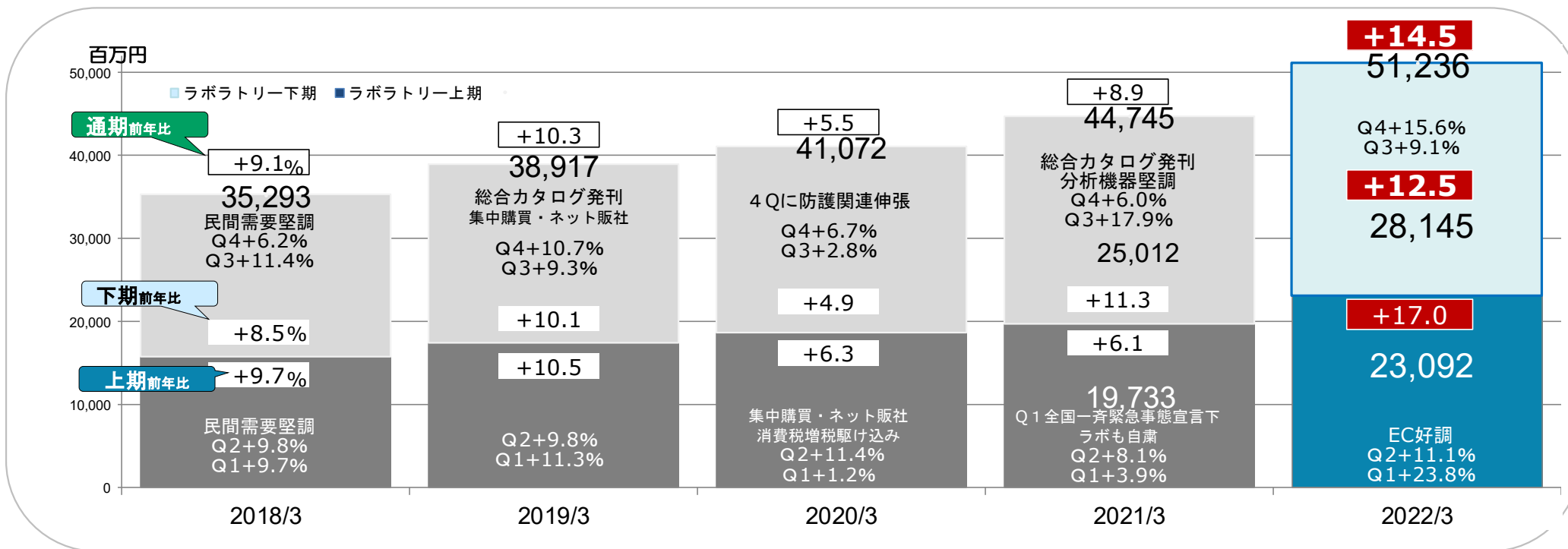
ラボ・インダストリー部門 ラボラトリー (LB) 売上

実績

売上高 512.4億円

前年同期比 **+14.5%** 計画比 (+11.9億円)
+64.9億円

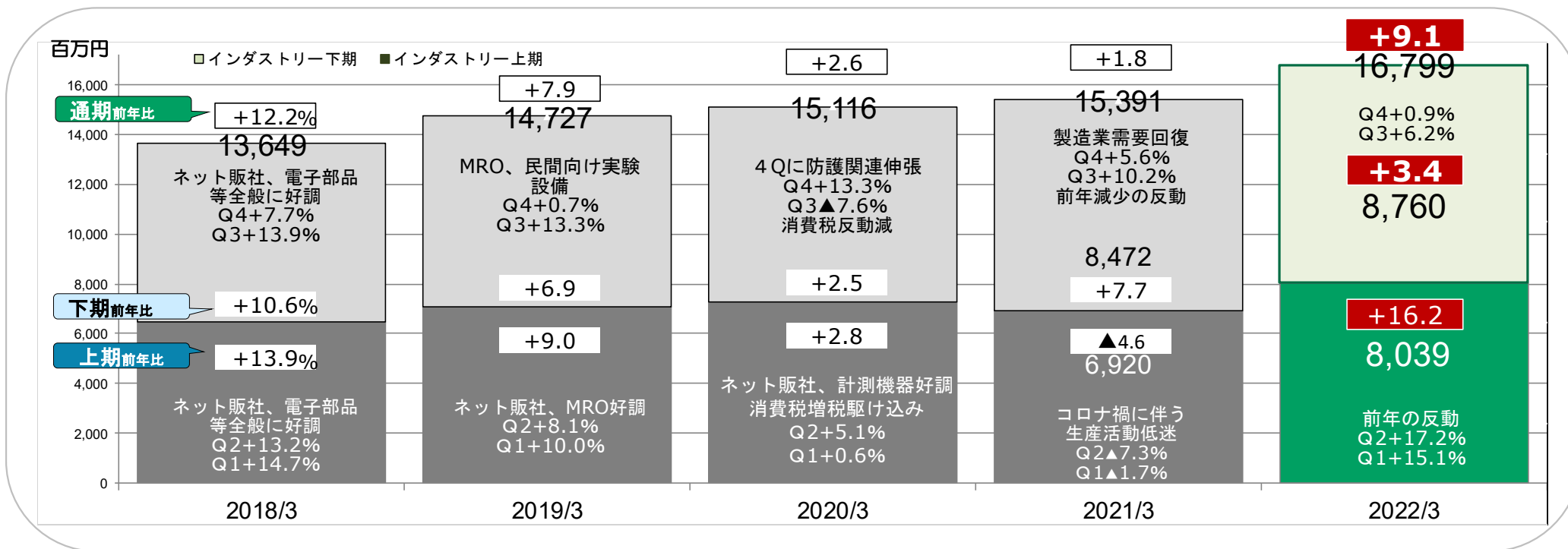
➤ ECチャネル+36億円、プロダクト軸ではWEB単独掲載品で+18億円。



ラボ・インダストリー部門 **インダストリー (ID) 売上** 実績

■ **売上高** **167.9億円** 前年同期比 **+9.1%** 計画比 (▲2.2億円)
+14.1億円

➤ 前年上期マイナスの反動 (前々年比11.1%)。ECチャネル+7億円。



メディカル（MD）部門売上

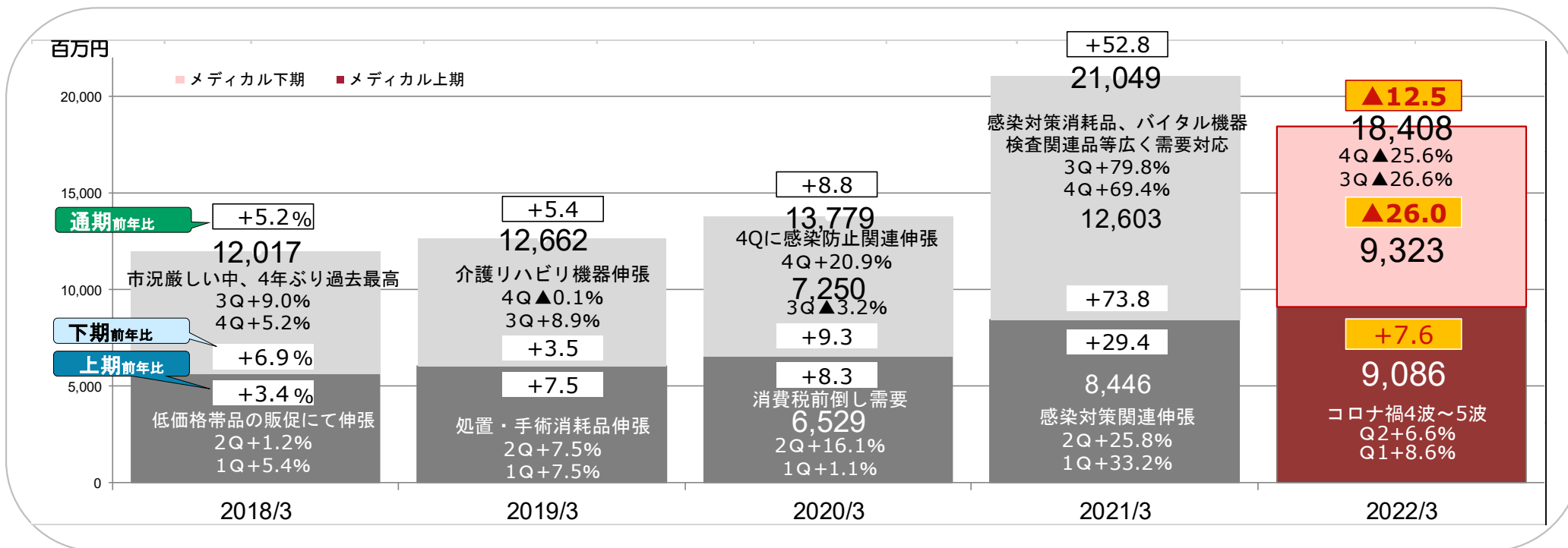
実績

■ 売上高

184.0億円

前年同期比 **▲12.5%** 計画比 (+8.2億円)
▲26.1億円

➤ 前年のコロナ対策需要急拡大の反動を受け減収も、一定の需要は高位継続し常態化。



その他売上

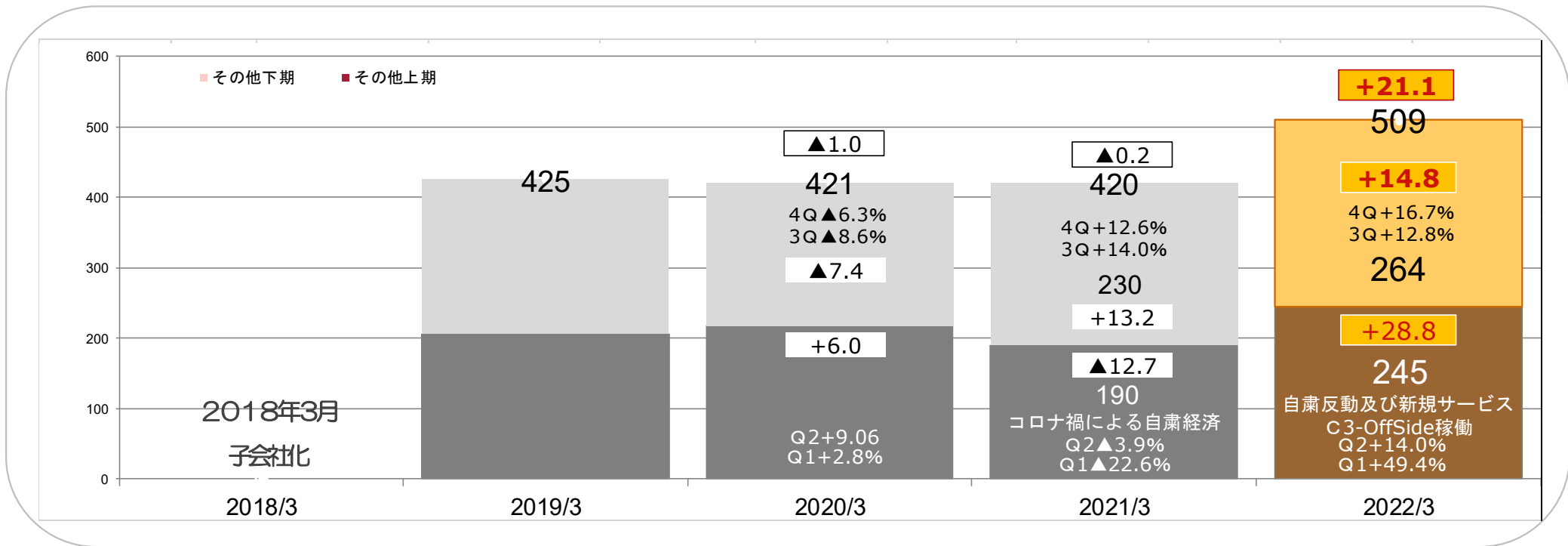
実績

売上高

5.0億円

前年同期比 **+21.1%** 計画比 (+0.0億円)
+0.9億円

- ▶ 子会社トライアンフ21が試薬や研究物品の購買マッチングをする購買代行システムを運用し手数料売上として計上
- ▶ 全間接購買を代行するシステムC3-OffSideをリリースし中堅製薬メーカーにサービス開始。試薬検索システムも新規稼働。



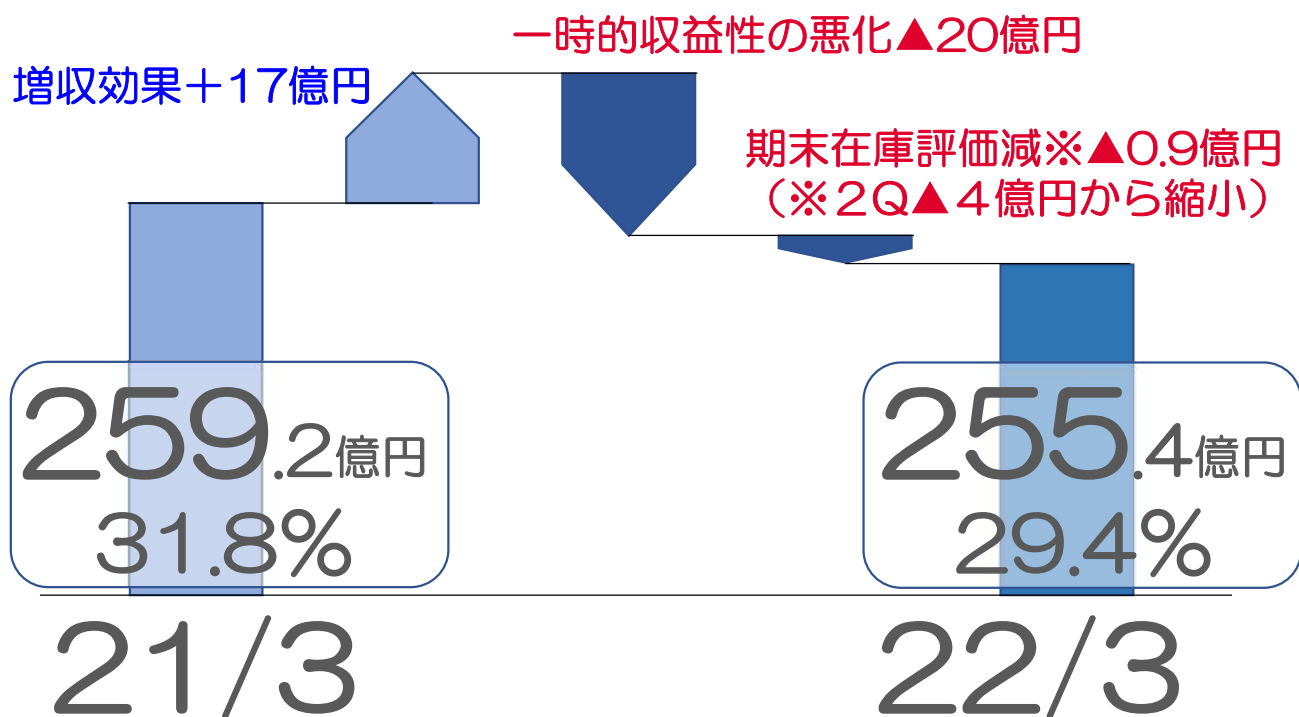
営業利益増減理由（粗利）

実績

■ 売上総利益 255.4億円

前年同期比 ▲1.5%
▲3.8億円
計画比 (▲3.9億円)

➤ 総利益率 ▲2.4p Down。前年価格急騰品在庫が一時的に採算性悪化。在庫循環で回復方向。



四半期粗利率	20/3	21/3	22/3
1Q	31.5%	31.3%	30.7%
2Q	31.2%	31.0%	26.8%
3Q	31.7%	32.9%	30.1%
4Q	30.5%	31.7%	29.8%

P B・輸入品実績 (単体ベース)

売上シェア 37.0% (+0.2p)
(前年同期比)
品不足で落としていたシェアを回復

粗利率 ▲5.8 p (前年同期比)
前年価格急騰品在庫の採算性悪化

※原価割れ起因

営業利益増減理由（販管費）

実績

■ 販管費

162.0億円

前年同期比 **+1.0%** 計画比 (▲3.2億円)
+1.7億円

▶ 売上に連動して物流費及び人件費増も、昨年のスマートDC初期費用等消滅。行動費や広告費抑え計画比減。

販管費	2021/3	2022/3	修正計画比		前年同期比		補足
			増減額	増減率	増減額	増減率	
販管費	16,035	16,202	▲ 324	▲2.0%	167	1.0%	
広告宣伝費	560	426	▲ 112	▲20.9%	▲ 133	▲23.8%	21/3は研究用総合カタログ（約3500頁）更新年 22/3は医療用総合カタログ（約2000頁）更新年
うち印刷費	270	125	▲ 43	▲25.6%	▲ 145	▲53.7%	
人件費	5,714	5,857	237	4.2%	143	2.5%	期中平均人数前年631→648人
うち退職給付関連	123	143	31	28.0%	19	15.4%	
運賃・倉庫作業料	4,092	4,595	▲ 12	▲0.3%	503	12.3%	売上変動6.6%+人件費アップ +自動化設備の最適運用試行コスト
研究開発費	28	17	▲ 32	▲65.3%	▲ 11	▲39.3%	PB品開発費用
不動産賃借料	1,353	1,311	▲ 12	▲1.0%	▲ 42	▲3.1%	保管スペース整理
減価償却費	1,023	982	▲ 20	▲2.1%	▲ 40	▲3.9%	物流・IT投資の償却進行
ソフト償却費	385	411	▲ 7	▲1.7%	26	6.8%	IT投資
その他	2,876	2,600	▲ 364	▲12.3%	▲ 276	▲9.6%	スマートDC一時費用及びのれん消滅他

（単位：百万円）

22/3 損益計算書

実績

- ▶ 中間で利益計画下方修正したものの、売上・利益共期初計画を上回った。
- ▶ 期初計画（売上823億円、営業93億円、純利益66億円）

	2021/3		2022/3		修正計画比		前年同期比		(単位：百万円) 補足
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	81,606	100.0%	86,954	100.0%	1,794	+2.1%	5,347	+6.6%	ラボ・EC売上牽引 WEB掲載630万点。
売上総利益	25,927	31.8%	25,544	29.4%	387	▲ 0.2p	▲ 382	▲ 2.4p	前期：価格急騰品目の価格下落に伴う在庫品の採算性悪化。 2Qを底に期末までに採算性回復方向
営業利益	9,891	12.1%	9,341	10.7%	711	+8.2%	▲ 549	▲ 5.6%	物流費・人件費増加するもスマートDC一時費用等減少 一時的粗利率減によるもの
経常利益	10,195	12.5%	9,568	11.0%	648	+7.3%	▲ 626	▲ 6.1%	為替差損
特別損益	▲ 1,254	▲ 1.5%	885	1.0%	715	-	2,140	-	前期：のれん減損等 当期：遊休不動産及び投資有価証券整理に伴う売却益
当期純利益	5,988	7.3%	7,202	8.3%	962	+15.4%	1,214	+20.3%	11期連続増益 10期連続過去最高更新
当期純利益/1株(円)	160.29		192.68		25.76	+15.4%	32.40	+20.2%	

23/3期 業績予想

環境認識

考慮事項	環境認識		ラボ・インダストリー	メディカル
コロナ禍 沈静化傾向	ポジティブ	重症化リスクの減少等から国内では、経済活動が回復に向かう 常態化した医療機関の感染対策は継続せざるを得ない 手術・一般診療需要の復活	○	—
	ネガティブ	感染対策用品の需要は一部減退。	—	○
DX潮流	ポジティブ	デジタル庁発足。官民共EC利用のデジタル購買利用拡大。	—	○
供給制約 (電力・電子部品・原材料・物流不足等)	ポジティブ	電子部品業界の活況によるクリーンルーム用品需要拡大 インフレ圧力による低価格販売競争の軟化	○	—
	ネガティブ	供給制約に伴う、生産操業度の低下に伴う景気動向への影響 仕入サイドへの影響	○	○
			(織り込み済)	—
脱炭素	ポジティブ	各分野において、イノベーションに向けた技術開発・研究開発の活発化。	(PB品計画発注による回避)	○
円安	ポジティブ	ドルベース・元ベースの海外売上には、プラスに。	○	○
	ネガティブ	輸入品仕入れコストの上昇	—	—
			(価格反映方針)	(価格反映方針)

前提条件

- コロナ禍による経済活動大幅自粛は想定外。
- メディカルは上期フラット、前年落ち込んだ下期にオーガニックな成長軌道へ
- ウクライナ情勢や急速なインフレ等による大幅な景気減速は想定外。
- 調達価格上昇等については機動的なプライシングにて対応。

売上高

920.6億円

前年同期比 **+5.9%**
+51.1億円

営業利益

100.1億円

前年同期比 **+7.2%**
+6.7億円

(営業利益率 10.9%)

当期純利益

70.8億円

前年同期比 **▲1.7%**
▲1.2億円

分野別通期売上見通し

見通し

単位：百万円

	上期	前年比	伸率 (%)	下期	前年比	伸率 (%)	通期	前年比	伸率 (%)
ラボラトリー	24,142	1,050	+4.5	30,607	2,462	+8.7	54,749	3,512	+6.9
	未来への課題に取り組む研究開発需要は不減。 品揃え・サービス・ECの優位性がオーガニックに成長を促進。								
インダストリー	8,485	446	+5.6	9,293	533	+6.1	17,779	979	+5.8
	一部産業の供給制約の懸念あるも、半導体関連の生産は高水準。								
メディカル	9,200	114	+1.3	9,775	452	+4.8	18,975	567	+3.1
	前年上期までコロナ禍4・5波で高水準。感染対策しつつ、手術・一般診療の再開需要。								
その他	292	47	+19.1	265	1.1	+0.4	557	48	+9.4
	購買代行システム既存先運用拡大による増収								
合計	42,120	1,658	+4.1	49,940	3,448	+7.4	92,060	5,106	+5.9

中計施策進捗・見通し

見通し

➤ ECは人的リソース増、アカウント拡大と既存先深耕を図る。

単位：百万円

	21/3 実績	22/3 実績	伸率 (%)	23/3 上計画	前年比	伸率 (%)	23/3 下計画	前年比	伸率 (%)	23/3 年計画	前年比	伸率 (%)
ocean	8,064	10,292	+27.6	5,325	548	+11.5	6,275	759	+12.1	11,600	1,307	+12.7
接続数	218社	249社	—	—	—	—	—	—	—	282社	33社	—
Wave	152	443	+190.0	400	241	+151.9	600	316	+52.6	1,000	557	+125.6
稼働ユーザー数	552	1,622	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
アカウント数	1,673 社	10,284 社	—	—	—	—	—	—	—	15,000 社	4,716 社	—
AXELShop	1,775	1,939	+24.6	1,016	86	+9.3	1,084	74	+6.9	2,100	161	+8.3
ネット通販	6,130	7,663	+26.5	3,920	373	+10.5	4,680	563	+12.0	8,600	937	+12.2
EC計	16,123	20,338	+26.1	10,661	1,249	+13.3	12,639	1,713	+13.6	23,300	2,962	+14.6

➤ 中国は1-12月の計画。上期は前年の反動。中国その他共年後半に成長期待。

中国	2,573	3,148	+22.3	1,415	▲75	▲5.1	1,787	130	+7.3	3,202	55	+1.7
その他海外	1,147	1,437	+25.3	737	▲58	▲7.3	815	173	+21.2	1,552	115	+8.0
海外計	3,720	4,585	+23.2	2,152	▲133	▲5.8	2,602	303	+11.6	4,755	170	+3.7

※ECはLB/ID/MDそれぞれに売上計上されます。海外はLBに売上計上されます。

主要施策プロダクト軸進捗・見通し

見通し

- 品揃えの拡大は、確実に売上に貢献中。
- 7年前7万点だった品揃えは新年度730万点を目指す。
- サービス売上も2割強の伸び。
 - レンタル・校正・受託・特注・フィールドサービス・・・など

	21/3 実績	22/3 実績	伸率 (%)	23/3 上計画	前年 上期比	伸率 (%)	23/3 下計画	前年 下期比	伸率 (%)	23/3 年計画	前年比	伸率 (%)
品揃え	万点 510	万点 630	万点 +120	万点 680	万点 +125	% +22.6	万点 730	万点 +100	% +15.9	万点 730	万点 +100	% +15.9
WEB単独掲 載品売上高	百万円 7,244	百万円 9,385	% +27.4	百万円 5,200	百万円 +952	% +22.4	百万円 6,000	百万円 +863	% +16.8	百万円 11,200	百万円 +1,815	% +19.3
サービス売上	百万円 2,134	百万円 2,597	% +21.7	百万円 1,321	百万円 +210	% +18.9	百万円 1,558	百万円 +72	% +4.6	百万円 2,879	百万円 +282	% +10.9

※WEB単独商品売上及びサービス売上はLB/ID/MDそれぞれに売上計上します。

粗利見通し

見通し

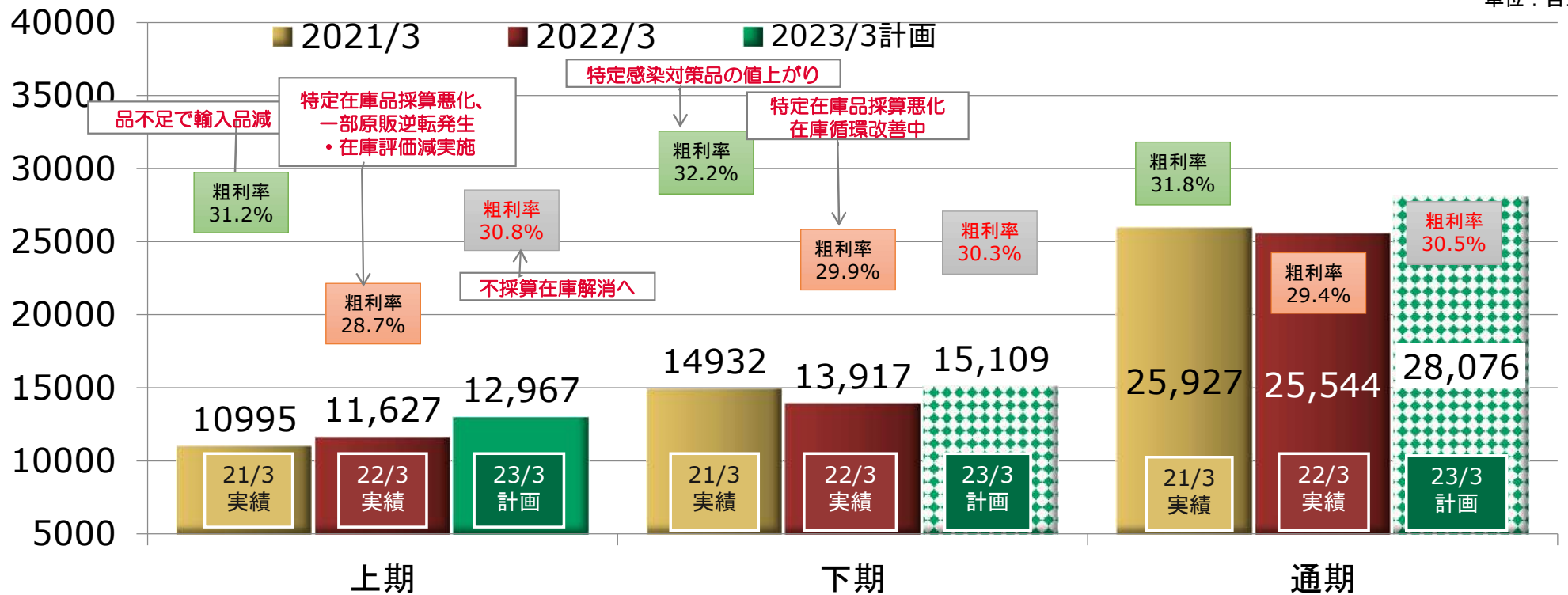
■ 売上総利益

280.8億円

前年同期比 **+9.9%**
+25.3億円

➤ 在庫循環し採算性回復へ。為替悪化・原材料コスト上昇は機動的なプライシングで対応。

単位：百万円



販管費見通し

見通し

■ 販管費

180.6億円

前年比 **+3.1%**
+4.9億円

▶ 物流費、人件費、IT費用の増加、保守的に行動費の回復支出を見込む。

	2022/3 実績	2023/3 予想	前年比増減額		通期期前年比		補 足
			上期	下期	増減額	増減率	
販 管 費	16,202	18,066	682	1,181	1,863	11.5%	
広告宣伝費	426	749	112	210	323	75.8%	3Qに研究用総合カタログ（約3500頁）発行
うちかが費	125	278	21	131	153	122.1%	（昨年は医療用で頁数約2000頁）
人件費	5,857	6,302	162	282	445	7.6%	人的資本として質上げ実施。採用も拡大。
うち退職給付関連	143	132	9	▲20	▲11	▲8.1%	
運賃・倉庫作業料	4,595	4,952	115	241	357	7.8%	入出荷量増加に伴う変動費
研究開発費	17	55	25	13	38	226.9%	次年度研究用総合カタログ向けPB品など
不動産賃借料	1,311	1,356	▲7	52	45	3.4%	在庫品拡大で下期保管スペース借り増し
減価償却費	982	947	▲33	▲1	▲35	▲3.6%	スマートDC償却進行
ソフト償却費	411	492	32	48	80	19.5%	ITDX投資
その他	2,600	3,208	274	334	608	23.4%	行動費正常化、設備修繕、IT費用等

(単位：百万円)

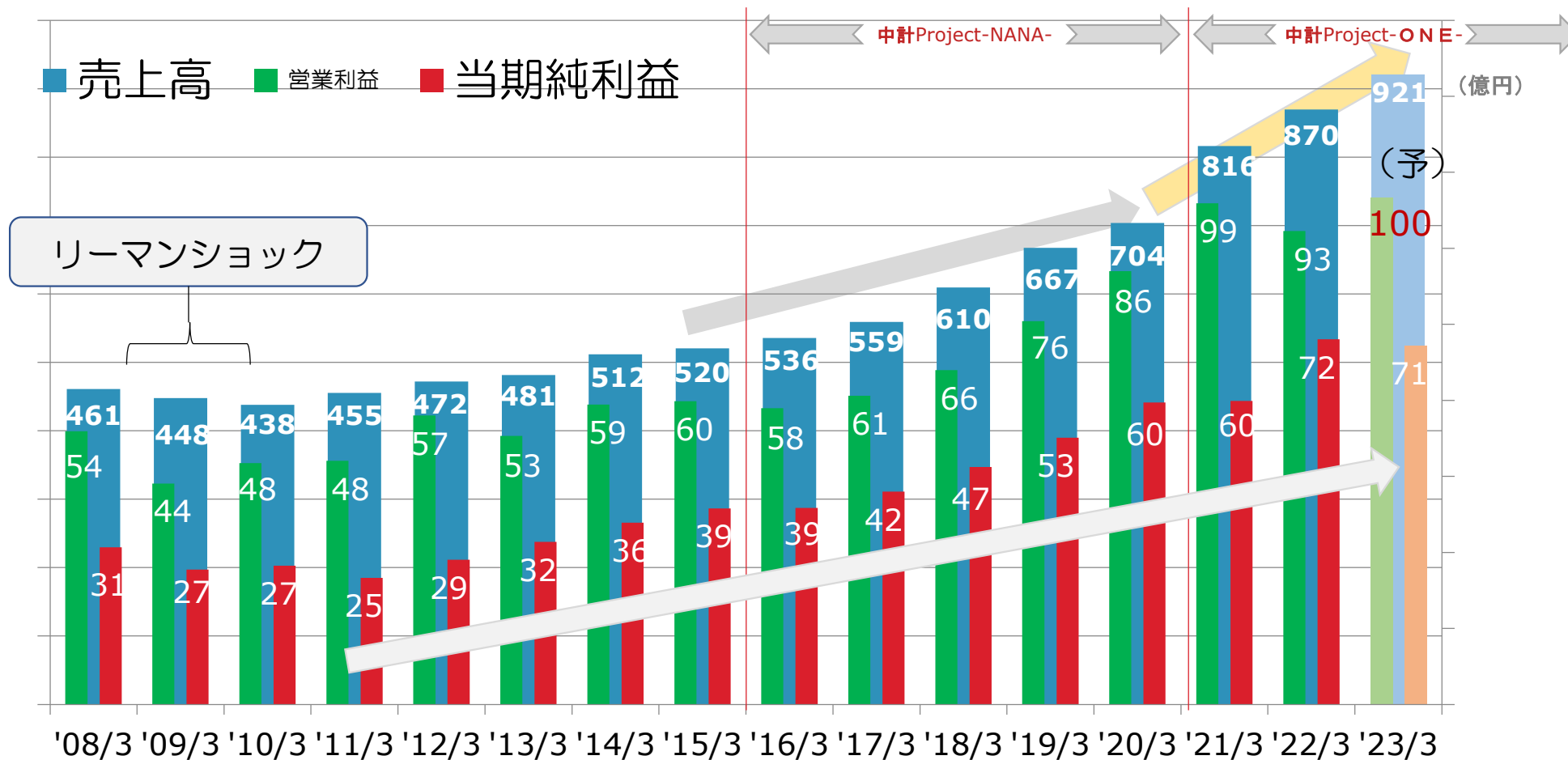
23/3期予想損益計算書

見通し

➤ 営業利益100億円に到達。過去最高を更新予定。

	2022/3実績		2023/3予想		前年比増減額		前年比		(単位：百万円) 補 足
	金額	売上比	金額	売上比	上期	下期	増減額	増減率	
売上高	86,954	100.0%	92,060	100.0%	1,657	3,448	5,105	+5.9%	前期：上期+14.7%下期+4.0% 当期：上期+4.1%下期+7.4%
売上総利益	25,544	29.4%	28,076	30.5%	1,339	1,192	2,531	1.1 p	前上期一部在庫の評価損4億円実施。 当期は在庫循環により解消へ。 前期：粗利率上期28.7%+下期29.9% 当期：粗利率上期30.8%+下期30.3%
営業利益	9,341	10.7%	10,010	10.9%	657	11	668	+7.2%	広告・IT費用・人件費・物流費UP 初の営業利益100億円へ
経常利益	9,568	11.0%	10,280	11.2%	692	18	711	+7.4%	過去最高更新予定
特別損益	885	1.0%	0	0.0%	▲ 79	▲ 805	▲ 885	-	前期：遊休不動産及び投資有価証券整理に伴う売却益
当期純利益	7,202	8.3%	7,080	7.7%	403	▲ 525	▲ 122	▲ 1.7%	前期の特別利益なくなり、現時点では減益見通し
当期純利益/1株(円)	192.68		189.37		10.77	▲ 14.08	▲ 3.31	▲ 1.7%	
配当金/1株(円)	97.00		95.00		4.00	▲ 6.00	▲ 2.00	▲ 2.1%	配当性向50%

➤ 13期連続増収、営業利益100億円到達を目指す。



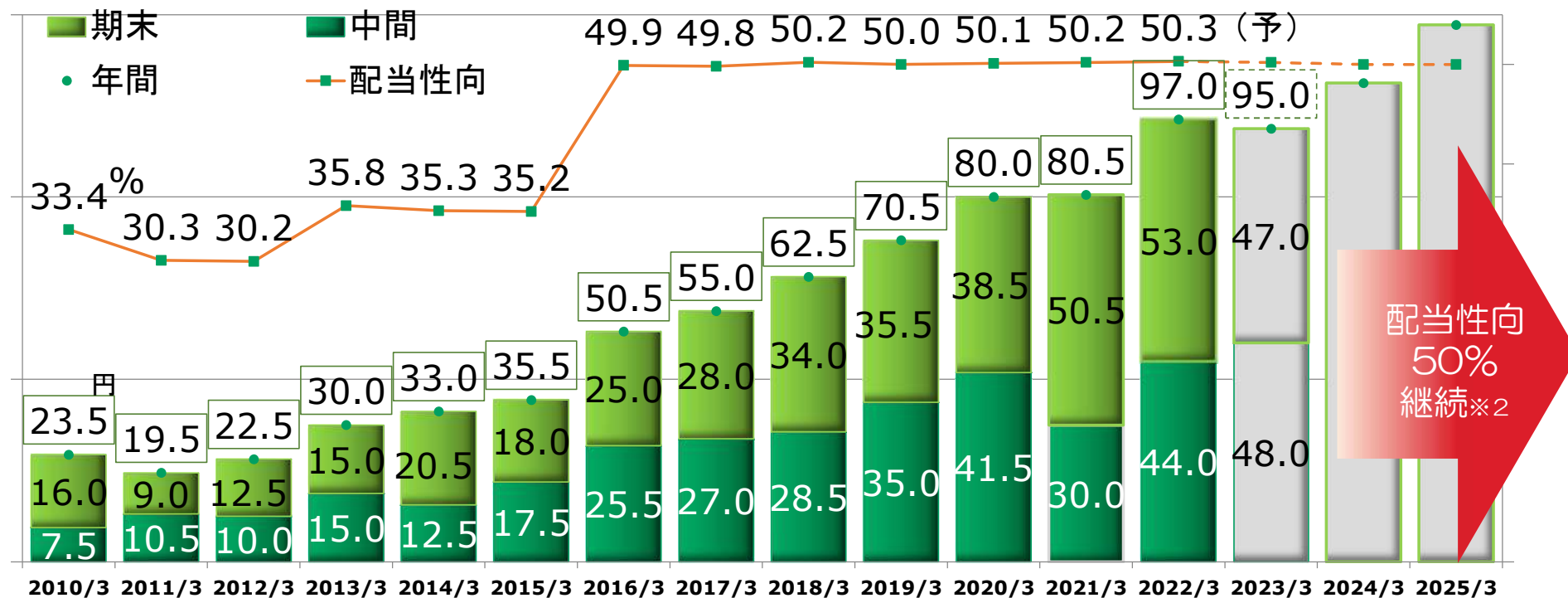
配当予想

見通し

■ 一株あたり **95円**

前年比 ▲2.0円

➤ 配当率50%継続※2。



配当性向
50%
継続※2

2010/3 2011/3 2012/3 2013/3 2014/3 2015/3 2016/3 2017/3 2018/3 2019/3 2020/3 2021/3 2022/3 2023/3 2024/3 2025/3

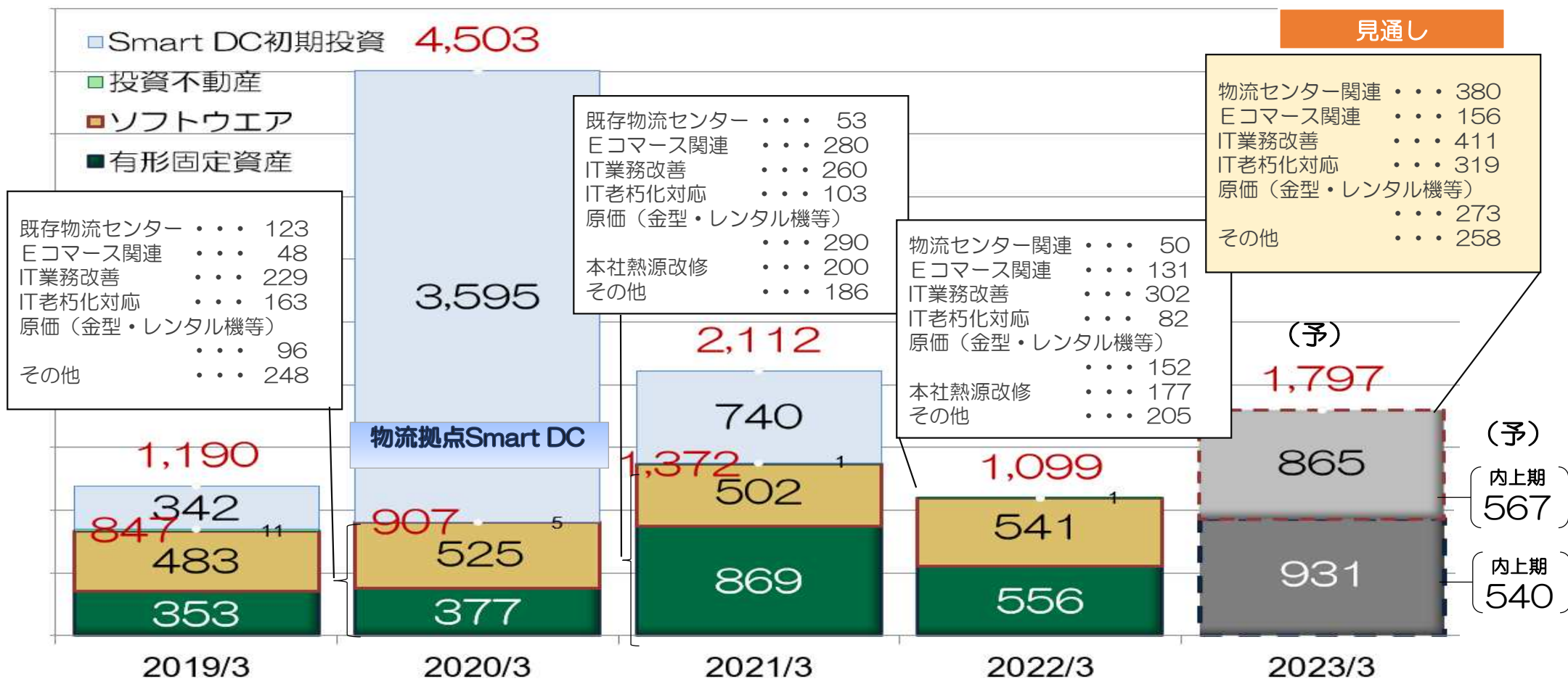
※1. 2022年1月に1株を2株に分割。過去に遡及して配当額を2分の1に補正済。 ※2. 2023年3月期より基準値より特別損益の影響額を控除。

投資推移

見通し

▶ 大型物流投資は一旦終了。業務のDX化推進

単位：百万円

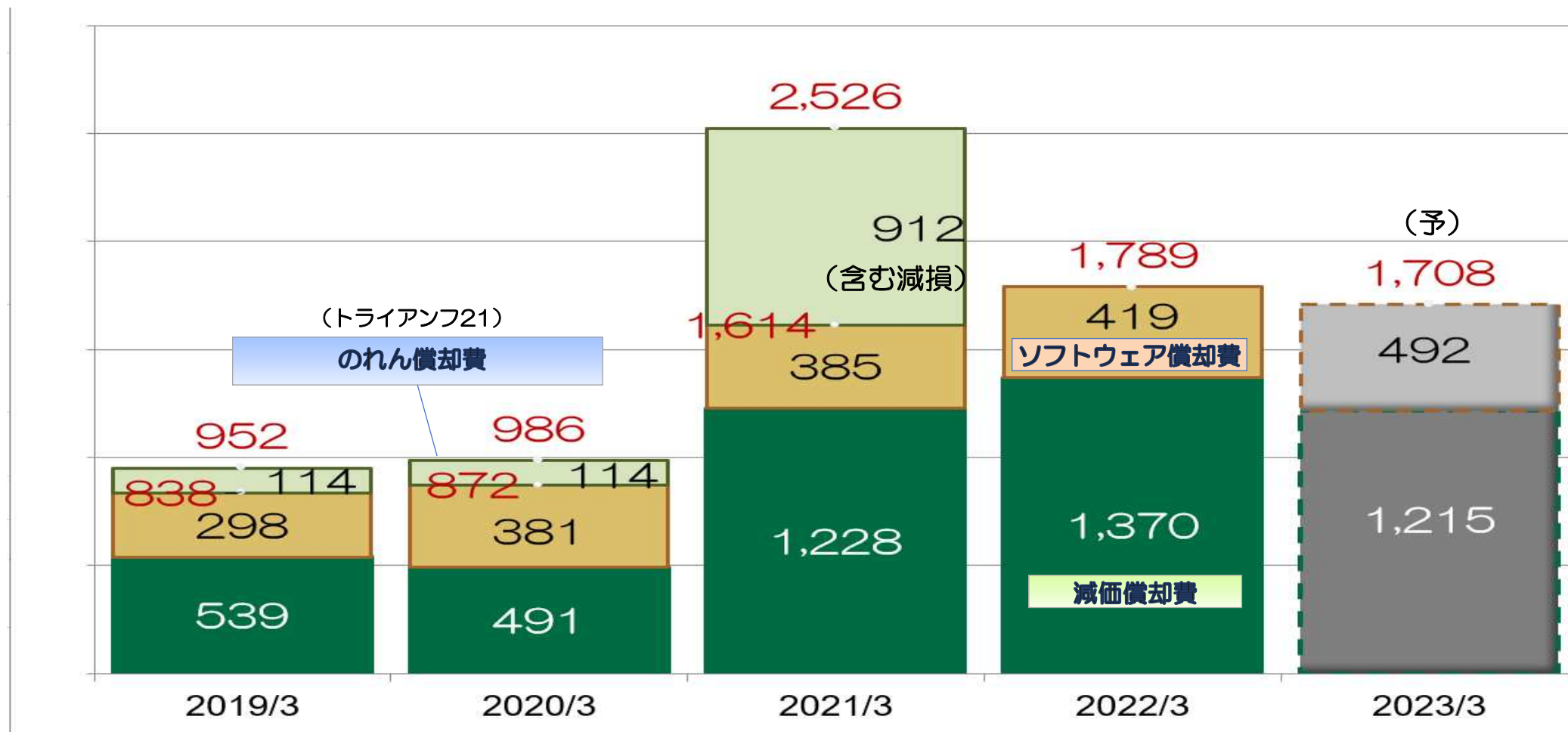


償却費推移

見通し

➤ Smart DCの償却進行で微減。

単位：百万円



決算概要・中期経営計画・ビジネスモデル等にご
質問がございましたらこちらまでご連絡ください。

広報IR部
06-6447-8821
asone_ir@so.as-1.co.jp